

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	医療法人仁学会 フォレストキッズさとむら南浦和教室		公表日		2025年 3月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		賃貸物件であり、限りがあるもの適切な療育環境を提供しています。	定期的にスペースと児童のバランスを再確認し、適切な環境が提供できるよう心掛けていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		活動内容に応じて2人配置しています。	活動内容に応じて適宜職員配置の見直しを検討します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		分かりやすく、視覚的に工夫し構造化しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清掃に気をつけ、子どもたちが楽しめる空間を意識しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		パーティションを活用し小さなスペースを作る、相談室の活用をしています。	相談室以外にも個別対応できるスペースの確保を検討します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		日々振り返り、ケース会議をしています。	これからも業務改善に向けて取り組んでいきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		今回は初めてアンケートを取りました。	毎年アンケートを実施し、結果をもとに業務改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎日の昼礼、週1回の会議を行い、柔軟に改善している。	会議や職員の個別面談などをおしてさらなる職場環境改善に取り組んでいきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現状、外部評価はおこなっていません。	法人として外部評価について検討をします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		必要な研修や支援力の向上の研修に参加するようにしています。	研修機会を確保し、職員間で共有・実践する機会を設け、支援力アップにつなげます。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページで公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		児発管を中心に職員間で会議で検討しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		会議で共有できている。継続的な見直しの機会をおして共有を図っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		日々の支援をおしてアセスメントをおこなっています。	今後、法人で標準化したツールを導入予定となっています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		適切に行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		話し合いの機会を持ち、それぞれのアイデアや支援のバリエーションの意見を取り入れるようにしている。	フォレストキッズの他施設や研修などの事例を参考にし、新しいプログラムを取り入れる。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定しないよう職員間の意見を参考しています。	季節やテーマを取り入れた活動を増やしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		行なっています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前や翌日に振り返りをしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		当日話し合うことが出来ないときは、記録に残し次回の支援に活かせるにしています。	職員間のコミュニケーション円滑の改善に取り組めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録をとり、支援内容がわかるようにし、翌日に振り返りに時間をとって共有しています。	記録の取り方を統一し、業務軽減に取り組めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		児発管を中心に職員間で会議で検討している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○	開所からまだ機会がありません。	相談事業所や関係機関との連携が課題です。関係機関との関りの機会を作ります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者の意向を確認させていただき、訪問や情報共有を適宜しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	該当する児童がいない児童がいません。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	-	-		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			○	地域の児童発達支援センターとの連携が少ないため、連携や助言を得られるような機会を作ります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			○	地域との交流の機会は持っていないため課題となっております。改善できるよう善処します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			日々の支援のフィードバックを通して共通の認識を持てるようにしています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			法人としての家族向けの就学相談や栄養相談を実施。3月に保護者会を開催しています。	来年度、ペアトレを実施予定。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に説明と文書を交付しています。相談室に掲示をしています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			定期的な面談などを通して聞き取りを行い、以降の確認をしています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		必ず保護者に説明をさせていただき、同意をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		適宜、相談を受け、必要に応じて助言を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者の集まる機会を提供しています。	保護者会を3月に開催しました。来年度も開催します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談にお応えできるように調整しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		公式LINEやインスタグラム、ブログを通して発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に説明や聞き取りをさせていただき、個人情報の取り扱いは、適切に管理しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもたちの発達や特性、保護者のおかれて いる環境に合わせて配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人のイベント開催のお知らせをしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、相談室に掲示しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、避難訓練を年2回を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認させていただいております。また受け入れ時に確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	契約時に確認させていただいております。まだ該当する子どもはいません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、研修と訓練を実施しています。安全面には配慮して支援を提供しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		保護者と連携が図れる取り組みについて週していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を作成し、再発防止策を検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		内部、外部研修を参加し、適切な対応を心掛けています。	来年度、法人全体で新たな研修を検討しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束については、安全面を優先し三原則に基づき行うことを契約時に説明し了承を得て個別支援計画に記載しています。	